

1 地方創生推進交付金について

国の平成28年度当初予算において、「地方版総合戦略」に位置付けられ、地域再生法に基づく地域再生計画に認定される地方公共団体の自主的・自律的な取組で先導的なものを支援するため措置されたもの。

＜国予算額＞ 1,000億円(補助率1/2)

＜本市配分額＞ 36,520万円

＜対象事業＞

- ①工芸文化の魅力発信によるいしかわ百万石文化交流推進プロジェクト
- ②金沢市SDGs未来都市計画推進事業
- ③歴史と伝統が育んだ文化を活用した次世代育成と関係人口拡大プロジェクト
- ④産学官の創造力・文化力・知力を融合した第4次産業革命における新産業創出事業
- 新 ⑤官民・地域と連携した金沢港を核とした賑わいづくり
- 新 ⑥北陸新幹線県内全線開業による開業効果の最大化及び持続、県内全域への波及
- 新 ⑦インバウンド再開を見据えたいしかわの魅力発信プロジェクト
- 新 ⑧東京オリパラのレガシーと新市民サッカー場を活かしたポストコロナのまちづくり～スポーツで人とまちを元気に～

2 効果検証

交付金を活用する事業については、事業毎にKPI(重要業績評価指標)を設定し、検証を行うこととされている。

＜評価基準＞

- ・非常に効果的であった : 全てのKPIが目標値を達成するなど、大いに成果が得られたとみなせる場合
- ・相当程度効果があった : 一部のKPIが目標に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合
- ・効果があった : KPIの達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取組が前進・改善したとみなせる場合
- ・効果がなかった : KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取組としても前進・改善したとは言い難いような場合

①工芸文化の魅力発信によるいしかわ百万石文化交流推進プロジェクト(R3～R5)

■事業内容

要素事業	実施内容 (主なもの)	補助金額 (千円)
工芸文化等の魅力発信	国立工芸館と文化施設の連携事業の実施 世界工芸トリエンナーレの開催	20,050
合計 (2事業)		20,050

■重要業績評価指標(KPI)

指標	基準値 (R1)	実績値 (R4)	目標値 (R5)	達成率
兼六園周辺文化施設の年間入館者数	96万人	66万人	114万人	57.9%
金沢地域への観光入込客数	1,068万人	863万人	1,158万人	74.5%
文化情報を一元的に発信するポータルサイトアクセス数	156,000件	151,669件	165,000件	91.9%

事業効果	地方創生に効果があった
<p>コロナ禍の影響により目標値の達成率は低いものの、令和4年度は、2つの指標（年間入館者数、観光入込客数）が前年度を上回るなど、一定の効果があった。</p>	

②金沢市SDGs未来都市計画推進事業(R3～R5)

■事業内容

要素事業	実施内容 (主なもの)	補助金額 (千円)
工芸の継承・発展	金沢の食、芸能、文化などの総合的な講座の実施 商品開発やブランディング等実践的なスキル獲得の 支援 など	4,900
金沢の歴史・文化への理解促進、多文 化共生社会の実現	アウトサイダー・アートの推進 金沢文化芸術発信学生大使による魅力発信 など	12,100
食品ロスの削減、グリーンインフラの 活用、低炭素社会の実現	フードドライブ事業の促進 各種団体で実施する緑化推進運動の支援 など	51,175
金沢SDGsツーリズムの推進	金沢SDGsツーリズム推奨制度の構築 など	13,400
合計 (34事業)		81,575

■重要業績評価指標(KPI)

指標	基準値 (R2)	実績値 (R4)	目標値 (R5)	達成率
IMAGINE KANAZAWA 2030パートナーズの登録件数 (累計)	100件	236件	200件	118.0%
海外見本市出展等への支援件数 (累計)	48件	65件	60件	108.3%
中心市街地の市文化施設の利用者数 (年間)	360,002人	200,731人	393,000人	51.1%
ごみ排出量 (年間)	155,761t	148,365t	153,700t	103.5%

事業効果	地方創生に相当程度効果があった
一部のKPIが目標に達していないものの、3つの指標ですでに目標を上回るなど、コロナ禍にあっても市民対象に着実に事業を実施し、インバウンド回復後を見据えSDGsの視点でまちの魅力を磨き高めることにつなげた。	

③歴史と伝統が育んだ文化を活用した次世代育成と関係人口拡大プロジェクト(R3～R5)

■事業内容

要素事業	実施内容 (主なもの)	補助金額 (千円)
文化芸術の「担い手」「支え手」育成事業	「KOGEIフェスタ！」の開催 金沢職人大学校による匠の技の発信 など	60,935
コンテンツのブランディング	全国の高校生を対象とした和食グランプリの開催 国民文化祭に向けた機運醸成イベントの実施 など	14,310
文化事業実施者への支援及びマネジメント事業	文化芸術活動支援体制の構築	3,450
文化を活用した関係人口の拡大事業	創造都市の強みを生かしたアーティスト間の交流 金澤町家の魅力発信 など	6,265
合計 (27事業)		84,960

■重要業績評価指標(KPI)

指標	基準値 (R2)	実績値 (R4)	目標値 (R5)	達成率
子ども芸術文化体験イベント参加者数 (年間)	未実施	780人	600人	130.0%
金沢クラフトインデックス登録件数 (累計)	228件	247件	243件	101.6%
伝統芸能伝習者の認定件数 (累計)	287件	296件	292件	101.4%
金沢市のふるさと納税寄附受入件数 (年間)	276件	19,363件	12,000件	161.4%

事業効果	地方創生に非常に効果的であった
すべての指標ですでに目標を達成しており、本市の歴史と文化を活かした事業の実施により次世代人材育成や関係人口の拡大につながった。	

④産学官の創造力・文化力・知力を融合した第4次産業革命における新産業創出事業(R1～R5)

■事業内容

要素事業	実施内容 (主なもの)	補助金額 (千円)
価値創造拠点活用コミュニティ形成事業	価値創造拠点と金沢AIビレッジの連動による、市民や地場企業との交流促進 起業家間のネットワーク構築に向けて若者や女性起業家の活動支援 など	46,450
第4次産業革命における新産業力向上事業	中小企業への最先端技術導入を促進する体験型ワークショップの開催 など	9,142
市民生活へのAI等技術の実装とデジタル情報時代を担う子供の育成事業	地域団体と連携し、ICT技術の市民生活への活用を図るモデル事業の実施 プログラミング教育ディレクターを中心に子供に学びの機会の提供 など	17,924
合計 (20事業)		73,516

■重要業績評価指標(KPI)

指標	基準値 (H30)	実績値 (R4)	目標値 (R5)	達成率
「価値創造拠点」におけるコミュニティ形成に伴う年間起業家数	未整備	252人	426人	59.2%
はたらく人にやさしい事業所表彰企業数	40社	67社	65社	103.1%
市民生活へのAI等技術の実装数	未実施	5件	10件	50.0%
「みらいクリエイター」の認定数 (※)	未実施	120人	200人	60.0%

※令和3年度以降はIT部活部員数を計上

事業効果	地方創生に相当程度効果があった
一部の指標がすでに目標値を達成しており、2つの指標（年間企業家数、認定数）でも前年度より増加するなど、持続的な産業の発展と地域経済の活性化につなげる施策を着実に実施した。	

新 ⑤官民・地域と連携した金沢港を核とした賑わいづくり(R4～R6)

■事業内容

要素事業	実施内容 (主なもの)	補助金額 (千円)
他港と連携したクルーズ船誘致強化事業	横浜港・神戸港と連携したクルーズ船の誘致・利用促進 など	5,160
金沢港クルーズターミナルを核とした賑わい創出事業	金沢港クルーズ船受入体制の整備 周辺地域と連携した賑わいの創出	5,250
金沢港発着クルーズの定着促進に向けた安全安心なクルーズのPR事業	旅行会社とタイアップしたセミナー、情報発信の実施 など	4,300
合計 (6事業)		14,710

■重要業績評価指標(KPI)

指標	基準値 (R3)	実績値 (R4)	目標値 (R6)	達成率
金沢港クルーズターミナルで開催したイベントによる集客数	130,000人	169,950人	143,000人	118.8%
金沢港クルーズターミナルの利用者数	50万人	64万人	60万人	106.7%
金沢港へのクルーズ客数	400人	1,230人	40,000人	3.1%

事業効果	地方創生に相当程度効果があった
関係市や関係機関とともに連携して取り組んだ結果、金沢港クルーズターミナルの入館者数の増加が見られたところであり、金沢港を核とした地域の賑わい創出や交流人口の拡大に寄与した。	

新 ⑥北陸新幹線県内全線開業による開業効果の最大化及び持続、県内全域への波及(R4～R6)

■事業内容

要素事業	実施内容 (主なもの)	補助金額 (千円)
北陸新幹線県内全線開業効果の最大化に向けた広域連携による誘客対策	長野市と連携したプロモーション活動の実施 ツーリズムEXPOジャパンへの出展 など	5,448
多様化する旅行ニーズに対応した誘客	女性向け雑誌やWEBメディアとタイアップしたプロモーション活動の実施 「文化×アニメ」など新しい素材を活かしたイベントの開催 など	15,672
合計 (8事業)		21,120

■重要業績評価指標(KPI)

指標	基準値 (R2)	実績値 (R4)	目標値 (R6)	達成率
三大都市圏からの観光入り込み客数	467万人	606万人	1,270万人	47.7%
県観光ホームページへのアクセス件数	1,694,398件	3,601,944件	2,250,000件	160.1%
教育旅行誘致人数	22,208人	66,624人	43,000人	154.9%

事業効果	地方創生に相当程度効果があった
コロナ禍の影響がある中で、2つのKPIがすでに目標を達成するなど、来春に控えた北陸新幹線県内全線開業の効果を最大化するための取組を着実に実施した。	

新 ⑦インバウンド再開を見据えたいしかわの魅力発信プロジェクト(R4～R6)

■事業内容

要素事業	実施内容 (主なもの)	補助金額 (千円)
アジア市場へ向けた魅力発信事業	台湾からの誘客を促進するため、交流事業や誘客プロモーションを実施	3,900
合計 (1事業)		3,900

■重要業績評価指標(KPI)

指標	基準値 (R3)	実績値 (R4)	目標値 (R6)	達成率
現地イベントにおける参加者数	0人	2,081人	5,100人	40.8%
SNS (Instagram) フォロワー数	10千人	14千人	30千人	46.7%
オンライン商談会での成約件数	46件	53件	81件	65.4%
大手オンラインショップ内の県産品紹介販売サイトでの売上額	9,328千円	9,537千円	14,000千円	68.1%

事業効果	地方創生に効果があった
コロナ禍の影響がある中で、本格的なインバウンドの再開に向け、海外のイベントやSNSによる情報発信を通じて石川県の認知度向上につながった。	

新 ⑧東京オリパラのレガシーと新市民サッカー場を活かしたポストコロナのまちづくり
 ～スポーツで人とまちを元気に～(R4～R6)

■事業内容

要素事業	実施内容 (主なもの)	補助金額 (千円)
オリパラレガシーを活かした国際交流事業	国際交流の促進に資する事業を行う団体等の支援	2,227
共生社会推進事業	ICTを活用した情報バリアフリー環境の推進 小学校のパラスポーツ体験への選手派遣 など	10,567
スポーツ文化推進事業	新市民サッカー場オープンに向けた機運醸成 プロスポーツチームとの連携事業の実施 など	5,561
上記を活かした交流人口拡大事業	バリアフリーツアーやスポーツツーリズムの推進 文化スポーツイベントの誘致促進 など	47,015
合計 (36事業)		65,370

■重要業績評価指標(KPI)

指標	基準値 (R3)	実績値 (R4)	目標値 (R6)	達成率
年間宿泊客数	254万人	264万人	361万人	73.1%
市内における学会、大会等の開催数(累計)	54回	217回	385回	56.4%
金沢市のふるさと納税寄附受入件数(年間)	16,520件	19,363件	15,300件	126.6%
健康づくりに取り組む団体の応募数(累計)	48団体	51団体	73団体	69.9%

事業効果	地方創生に相当程度効果があった
一部のKPIがすでに目標を達成しているほか、達成に向けて概ね順調に推移しており、交流・関係人口の拡大や多文化共生への理解促進につながった。	

未来につなげる～ふるさとの森・まちづくり～計画の達成状況に係る評価(令和2～4年度)

1 未来につなげる～ふるさとの森・まちづくり～計画について

<計画概要>

○金沢市は石川県のほぼ中央に位置し、森林面積は市域面積の約6割を占めているが、近年、林業従事者数の減少や手入れ不足により、森林の荒廃が進んでいる。また、木材生産コストの低減を図るため、木材の搬出、輸送経路である市道、林道整備が急務となっている。

○そこで、市道拡幅、林道改良を一体的に連携して行い、木材の輸送ルート効率化を図ることで中山間地域産業の競争力強化に資する道路ネットワークを構築し、金沢産材供給量の増加や、木材輸送時間の短縮等の効果発現が見込まれるとともに、住宅や公共建築物に対し、地域材である金沢産材の利用推進や中山間地域である湯涌温泉地区の賑わいの創出を目指す。

○さらに、災害時の緊急輸送道路に指定されている県道が被災した際の迂回路として、当該整備路線を利用することにより、一般車両や緊急車両等の円滑な運行及び地域公共交通網の確保が可能となるよう整備する。

<計画期間>

令和2年度～令和6年度

<地域再生計画の目標>

	令和元年度 (基準年度)	令和4年度 (中間年度)	令和6年度 (最終目標)
目標1 金沢産材供給量の増加	1, 380 ^{m³}	2, 500 ^{m³}	2, 500 ^{m³}
目標2 地域運営バスの運行箇所数の増加	2地区	3地区	5地区

<地域再生計画を図るために行う事業>

【地方創生整備推進交付金(道の整備事業)】

市道:3.25 km、林道:2.33 km

総事業費 2,154百万円(うち国費 1,077百万円)

市道 2,054百万円(うち国費 1,027百万円)

林道 100百万円(うち国費 50百万円)

【その他の事業】

金沢産材利用促進事業、木のある暮らし(木の家)づくり奨励事業、金沢林業大学校運営事業、地域運営交通支援事業 等

2 評価

地域再生計画の目標については、中間年度・最終年度に必要な調査を行い、状況を把握するとともに、目標達成状況の評価、改善すべき事項の検討等を行うこととされている。

■目標達成状況

	目標値(R4)	実績値	達成率
目標1 金沢産材供給量の増加	2,500m ³	8,083m ³	323%
目標2 地域運営バスの運行箇所数の増加	3地区	8地区	267%

評価:いずれの目標も中間目標値の2倍以上の数値となっており、地方創生に非常に効果的であった。

【金沢産材供給量の増加】

目標を大幅に達成。

今後も、SDGs等の環境意識への高まりから木材供給量が増加することが見込まれる。

また、当該路線と区域の林道の一体的な整備により、森林施業の効率化及び生産コストの抑制が期待できる。

【地域運営バスの運行箇所数の増加】

箇所数は8地区に増加。地域運営バスの増加により、日常生活の利便性向上のほか災害時の孤立への不安払拭の効果が見込まれる。